無産政党問題に関する決議、

今や日本農民組合の提唱に基き全国的単一政党再組織運動は着々進行しつゝある。吾が日本労働組合評議会は遺憾ながら、その圏外にある。

されどこれは、吾が評議会が却って単一政党の樹立に対する希望を捨てたゝめではなく、単一政党、階級的大衆的政党樹立の一日も速ならんことを希望するが故に、総同盟との対立干係が過去におけるが如く、政党組織運動の上に累を及ぼすことを怖れたが為である。

吾が評議会は今日までの一部組合幹部の如く、非階級的態度をとることなく、始終一貫無産階級的立場を厳守してきた。然るに我々の無産階級的立場に忠実ならんとする態度が支配階級の分割支配と日和見主義幹部連の分裂政策のために逆宣伝の材料に供せられ、政党組織運動の上に損失を招くことのあったことを認めざるを得ない。

極東労働者大会参加に関する決議

最近の情勢より鑑みれば、近国極東の問題は、我国資本主義の運命を決する上に重大なる関係を有して居る。従ってそれは亦、我が労働運動の上にも、当然重大なる関係を持つものである。

本委員会は、過般日本労働総同盟の提唱せる、極東労働者大会を招集することに賛成し、是れに参加を申込むことを決議する。

大正十五年一月二十四日

日本労働組合評議会

第一回拡大中央委員会